

## 第3次印西市環境基本計画策定支援業務委託

### 仕様書

1. 委託業務名 第3次印西市環境基本計画策定支援業務委託

2. 履行期間 契約締結日から令和4年3月25日

### 3. 目的

本市では「印西市環境基本条例」に基づき、環境施策を総合的かつ計画的に進めることを目的とした「印西市環境基本計画」を平成15年に策定した。その後、平成22年3月23日の印西市・印旛村・本埜村の合併により、新「印西市」としての新たな「印西市環境基本計画」を策定し、環境施策に取り組んできた。

この間、本市の環境の状況とともに、国内外の社会経済情勢や法制度等、環境行政を取り巻く状況は大きく変化してきた。

本業務は、現行計画の期間満了に伴い、本市の環境データ整理や市民意見抽出などの基礎調査を実施し、環境の現状や課題等を整理した基礎調査結果報告書を取りまとめるとともに、本市の目指す環境像や目標、施策について再検討し、環境施策の総合的かつ計画的な推進を図るための「第3次印西市環境基本計画」を策定することを目的とする。

## 4. 業務内容(令和2年度)

### (1) 既存資料調査等

#### ① 基本的事項の設定

計画策定の背景や期間、位置づけ、計画の構成等について整理する。

#### ② 環境データの整理と課題の抽出

##### ア. 環境データの整理

本市の地域特性等について整理するとともに、計画策定にあたって必要となる関連法令や国際情勢、国や県の動向について調査・把握して整理する。

なお、過去年度に実施した巨樹・巨木等の調査結果を包含し、印旛地区、本埜地区の範囲についても可能な限り調査する。

##### イ. 環境意識調査の実施

市民(2,000人)及び事業者(200事業所)の環境に関する意識を把握するためのアンケート調査を実施する。調査票の設計・印刷、調査票の発送・回収、調査結果の集計・解析については受託者が行い、調査対象の抽出については委託者が行う。

##### ウ. 課題の抽出

各種調査の結果から本市の環境特性を把握し、地域が抱えている環境上の問題点や課題を抽出する。また、計画を策定するにあたっての方向性を整理する。

#### ③ 基礎調査結果報告書の作成

調査結果の内容を取りまとめた基礎調査結果報告書を作成する。

#### ④ 環境基本計画骨子案の作成

基礎調査結果報告書を踏まえて、環境基本計画骨子案を作成する。

#### ⑤ 会議支援

環境調整委員会、環境推進市民・事業者会議、環境審議会の開催に伴い、会議資料を事務局との協力のもと作成するとともに、会議に出席し説明補助等の事務局支援を行う。

また、会議記録(要点筆記)を作成する。会議の開催回数は以下を想定する。

・環境調整委員会	2回
・環境推進市民・事業者会議	3回
・環境審議会	2回

#### (成果品)

・基礎調査結果報告書	5部
・環境基本計画骨子案	5部
・電子媒体	一式

## (2) 自然環境調査

### ① 事前準備

現地調査のための事前準備を行う。

なお、調査地区は、市内の代表的な自然環境の中から地域に偏りのないよう選定し、ホタル類を除く調査地区は、経年比較が可能となるよう「印西市自然環境調査報告書（平成 27 年 3 月）」（以下、「平成 27 年度報告書」とする）と同一地区とすることを基本とする。

また、ゲンジボタル等についての一般的な生態及び生息環境を既存資料によりまとめる。

調査地区

調査対象	調査地区数
植物及び動物（魚類を除く）	17
魚類	10
水鳥類	19
ホタル類	20（ゲンジボタル：5、ヘイケボタル：15）

調査時期及び調査回数

調査対象		調査回数	調査時期			
植物		3 回	夏季	秋季	—	春季※
動物	哺乳類	4 回	夏季	秋季	冬季	春季※
	鳥類	4 回	夏季	秋季	冬季	春季※
	爬虫類	3 回	夏季	秋季	—	春季※
	両生類	3 回	夏季	秋季	—	春季※
	昆虫類	3 回	夏季	秋季	—	春季※
	魚類	1 回	夏季	—	—	—
水鳥類		1 回	—	—	冬季	—
ホタル類		1 回	初夏			

※春季の調査については、令和 3 年度の業務とすること。

### ② 現地調査

#### ア. 植物

調査地区内の多様な環境を横断するように踏査し、確認した高等植物（シダ植物・種子植物）の種名を記録する。現地で種名が確定できない植物は、採集して持ち帰り、同定作業を行う。

#### イ. 哺乳類・鳥類

##### ・哺乳類

調査地区内を任意に踏査し、個体の目視やフィールドサイン（足跡、糞、食痕、巣、モグラ塚等の生息痕跡）の確認等により、生息する哺乳類相を把握する。

##### ・鳥類

任意観察：調査地区内を任意に踏査し、双眼鏡による観察や鳴声等の確認により、生息する鳥類相を把握する。

定点観察：調査地区内の代表的な地点において、双眼鏡及び望遠鏡を用いた観察を一定時間行い、生息する鳥類相を把握する。

#### ウ. 爬虫類・両生類・昆虫類

##### ・爬虫類・両生類

調査地区内を任意に踏査し、個体の目視や卵塊、鳴声等の確認、フィールドサイン（脱皮殻等の生息痕跡）の確認等により、生息する爬虫類相及び両生類相を把握する。

##### ・昆虫類

調査地区内を任意に踏査し、目視により確認した昆虫類（トンボ目及びチョウ類を主対象とし、その他の分類群については可能な限り記録する）の種名を記録する。現地で種名を確定できない昆虫類については、標本を持ち帰り、同定作業を行う。

#### エ. 魚類

調査地区内において、投網、タモ網、セルビン、カゴ網、小型定置網等を用いて魚類を採集する。採集した個体は、現地で種名が確定できる場合は記録後に放し、その他は標本として持ち帰り、同定作業を行う。

#### オ. 水鳥類

調査地区内の代表的な地点において、双眼鏡及び望遠鏡を用いた観察を一定時間行い、確認された鳥類及び個体数を記録する。

#### カ. ホタル類

調査地区内において、夜間調査を行いホタル類の生息種を確認する。また、ホタル類の生息が確認された場合は、定量的な個体数の把握を行うとともに、生息環境についても記録する。

#### キ. ホタル詳細調査

##### (ア)ホタル生息調査

##### ・発生消長調査

期 間：6月上旬から7月初旬の8回（夜間）

※時期は出現状況によって変更する可能性がある。

方 法：ゲンジボタル等が発生している場所の一定区間を一定の速度で歩き、個体数を記録する。

##### ・生息環境調査

期 間：発生消長期間中の3日（昼間）

方 法：ゲンジボタル等の生息している環境を調査する。

具体的には幼虫期に生息する水域の調査（水質、流速、水深等）及び、水辺に生育している植物、樹木や周辺環境を調査する。また、捕食対象となる生物の調査を行う。

(イ)湧水調査

期 間：発生消長期間中の 1 日（昼間）

方 法：生息地周辺に存在する湧水の位置、水質（pH、BOD、SS、D0）、水深等を調査する。

③ データ整理・取りまとめ（春季の調査分については、令和 3 年度の業務とすること）

現地調査で得られた結果を整理し、過年度の調査結果との比較を行い、生育・生息種の変化を把握する。

また、ホタル詳細調査地域におけるゲンジボタル等の生息状況等について文章や図でとりまとめる。

④ 自然環境調査結果報告書の作成（春季の調査分については、令和 3 年度の業務とすること）

業務の目的、調査方法、調査結果、既往調査結果との比較等を取りまとめ、自然環境調査結果報告書を作成する。

なお、報告書に使用する位置図等は、印西市統合型 GIS と互換性のあるデータ形式で作成し、使用する図面の基図作成は本業務に含むものとする。

(成果品)

- |                    |     |
|--------------------|-----|
| ・ 自然環境調査結果報告書      | 5 部 |
| ・ ホタル調査結果報告書       | 5 部 |
| ・ 電子媒体（GIS データを含む） | 一式  |

(3) 打合せ・協議

業務全体の進行管理、情報整理・確認等のための打合せ・協議等を行う。

## 5. 業務内容(令和3年度)

### (1) 計画準備

本業務の実施に当たり、円滑かつ効率的、効果的に業務を進めるため、業務の目的及び内容を踏まえ、業務実施方針や体制、工程等を検討し、業務実施計画書を作成する。

### (2) 取り組み方針及び基本施策の検討

環境目標の達成に向けて、市民、事業者、市の取り組み方針及び基本施策を検討する。

### (3) 環境指標の設定

環境施策の進捗状況を把握するための指標を検討する。環境指標は可能な限り数値目標を含むものとする。

### (4) 推進体制の検討

実効性のある計画とするため、計画の推進体制や点検・評価方法等の進行管理の手法について検討する。

### (5) 環境基本計画素案の作成

各検討の結果をとりまとめて、環境基本計画素案を作成する。

### (6) パブリックコメントの実施支援

市のHPや広報等で公表するための関連資料の作成を支援する。

パブリックコメントで寄せられた市民からの意見を取りまとめ、回答案を作成する。

### (7) 環境基本計画の作成

パブリックコメントでの市民意見等を反映し、環境基本計画を作成する。

また、環境基本計画を抜粋、要約し、分かりやすくまとめた概要版を作成する。

### (8) 会議支援

環境調整委員会、環境推進市民・事業者会議、環境審議会の開催に伴い、会議資料を事務局との協力のもと作成するとともに、会議に出席し説明補助等の事務局支援を行う。

また、会議記録(要点筆記)を作成する。会議の開催回数は以下を想定する。

・環境調整委員会	4回
・環境推進市民・事業者会議	4回
・環境審議会	4回

### (9) 打合せ・協議

業務全体の進行管理、情報整理・確認等のための打合せ・協議等を行う。

### (成果品)

・自然環境調査結果報告書	5部	
・環境基本計画	300部	カラー
・環境基本計画概要版	1,000部	カラー
・電子媒体(GISデータを含む)	一式	

第3次印西市環境基本計画策定支援業務 工程表（案）

種別	令和２年度												令和３年度											
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
既存資料調査等																								
基本的事項の設定																								
環境データの整理																								
環境意識調査の実施																								
課題の抽出																								
基礎調査結果報告書の作成																								
環境基本計画骨子案																								
自然環境調査																								
事前準備																								
現地調査（夏季）			(ホタル)																					
現地調査（秋季）																								
現地調査（冬季）																								
現地調査（春季）																								
データ整理・取りまとめ																								
自然環境調査結果報告書の作成																								
計画準備																								
取り組み方針及び基本施策の検討																								
環境指標の設定																								
計画の推進方策の検討																								
環境基本計画素案の作成																								
パブリックコメントの実施支援																								
環境基本計画の作成																								
打合せ・協議			○			○			○		○	○	○											○
環境調整委員会			○							○				○					○			○		
環境推進市民会議・事業者会議			○			○					○			○			○		○					
環境審議会			○			○					○			○					○			○	○	